



このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します

むらかみの話題

夏の風物詩 ～やまゆり荘・やまの里盆踊り～

7月31日(木) やまゆり荘



毎年恒例のやまゆり荘・やまの里納涼盆踊り大会が開催されました。参加者は炭坑節や花笠音頭、地元山屋の盆唄に合わせて、やぐらの周りに大きな輪を作り、盆踊りを楽しみました。蒸し暑い夜でしたが、暑さを忘れるように楽しそうに踊っている姿が印象的でした。

体験を通じて3団が交流

7月26日(土) 大石ダム(関川村)



市内の朝日地区、山北地区と関川村の緑の少年団の団員総勢56人が集合し、交流会が開催されました。この日は、大石ダムまつりが開催されており、団員はダム探検、カヌー体験、岩魚(いわな)や鮎のつかみどりなどを通じて交流を深めました。朝日地区から参加した木ノ瀬優華さんは「カヌーが面白かったのでまた乗ってみたいです。」と話してくれました。

現場で実感!

「第8回荒川と里山と田畑のめぐみ体験」

8月2日(土) 北新保ほか



“清流”荒川を考える流域ワークショップ主催の体験イベントが開催されました。荒川流域の恵みを実際に体験することで、環境保全と郷土愛を育もうと行われているものです。この日は小中学生約40人が参加し、松林での樹木観察や畑でのネギの収穫をとあして、荒川流域の恵みを実感していました。



「くめじま」が入港し、一般公開
8月1日(金)～3日(日) 岩船港

8月1日(金)に海上自衛隊の掃海管制艇「くめじま」が、岩船港に入港。2日(土)・3日(日)に一般公開され、多くの人が見学に訪れました。掃海艇は海中の機雷を探知して、爆破処分する業務を担っています。艇内も公開され、見学者にとつて海上自衛隊がほんの少し身近に感じられた日となりました。

ウェブで検索してみてね



「ホタル幼虫を放流」～ホタルの里づくり実験事業～

8月7日(木) 荒川総合運動公園



2ミリ程の幼虫
(顕微鏡で拡大)

春には桜が咲き乱れる公園内の一角「桜の谷」に、荒川地区地域審議会が数百匹の蛍の幼虫を放流しました。この日放流した幼虫は、付近を流れる梨ノ木川から採取した成虫を飼育箱で産卵・ふ化させたもので、徹底した温度管理などを行い、約1か月間大切に育ててきたものです。豊かな自然環境に囲まれた運動公園。園内のあちらこちらに蛍が飛びかう日も、そう遠くないかもしれません。

打った 走った 楽しんだ

8月17日(日) 朝日多目的グラウンドほか



青少年育成朝日地区市民会議主催の第33回ジュニアスポーツ大会(ソフトボール)が開催され、参加した13チームが3つのブロックに分かれて、優勝を目指しました。時折、小雨が降るコンディションでしたが、選手たちは精一杯のプレー、応援で大会を盛り上げました。また、アトラクションではお父さんたちによるホームラン競争が行われ、親子でソフトボールを楽しみました。

新イベントに800人の来場で大にぎわい

8月2日(土) 村上農村環境改善センター前



山辺里地区まちづくり協議会では、「ふれあいフェスタinさべり」を初めて開催しました。ステージでは、地区のイメージソング「大好き・さべり」に合わせた園児の踊りをはじめ、さまざまな出し物を披露。縁日の新名物「さべり焼き」は、「んめー!また食べたい!」などの声が聞かれ、好評を博しました。



8月9日(土) 合宿に訪れて16年
さんぼく生業の里企業組合

山北地区の夏の風物詩と言え
ば「焼畑」。その焼畑の土壌調
査に16年間毎年訪れているの
が「日本大学生物資源学部国際
生態研究室」です。数年前から
は、土壌調査だけではなく焼畑
も体験しています。今回は天候
不順のためやむなく中止とな
りましたが、調査先の山熊田集
落で焼畑を担う皆さんと交流を深
めました。高齢化で、担い手が
不足する中、熱心に伝統の生業
を聞く若い皆さんの姿に、集落
の人々は、大いに励まされた様
子でした。